

シャルパンティエの 宗教音楽

マルカントワーヌ・シャルパンティエ
「神よ、わたしをあわれんでください」(ミゼレーレ)

死者のためのミサ曲

短い聖母の連祷

短い「深い淵より」

Marc-Antoine Charpentier (1643-1704)

Miserere mei Deus H. 193

Messe des morts H. 10

Courtes Litanies de la Vierge a 4 voix H. 90

Court De profundis a 4 voix H. 222

2018年

9月2日(日) 午後2時 (1時30分開場)

上野学園石橋メモリアルホール

【独唱と管弦楽】古楽アンサンブル コントラポント

ソプラノ *dessus* 花井尚美 田村幸代 輿石まりあ

オートコントル/テノール *hautes-contres/taïlles* 金沢青児 村上惇 富本泰成

バス *basse* 春日保人

ヴァイオリン・ヴィオラ *violons* 丸山韶 天野寿彦 丹沢広樹 今田利 原田陽

小池吾郎 廣末真也

バス・ド・ヴィオロン *basses de violon* 島根朋史 野津真亮

オーボエ *hautbois* 荒井豪 リコーダー *flûtes à bec* 辺保陽一 大塚照道

ファゴット *basson* 鈴木禎 テオルボ *théorbe* 金子浩 オルガン *orgue* 辛川太一

【合唱】合唱団フォンス・フローリス

【指揮】花井哲郎

チケット料金

【前売/一般】¥3,500 【当日/一般】¥4,000

【学生/一般】¥2,500*

全自由席 *学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売券取扱

■ e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

■ 東京古典楽器センター 03-3952-5515

■ サンパウロ (四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ (10~18時)

【mobile】070-4123-0871

【email】contact@fonsfloris.com

17世紀フランス・バロックを代表する宗教音楽作曲家シャルパンティエがパリの教会のために作曲した名作を集めました。「神よ、わたしをあわれんでください」(ミゼレーレ)は「イエズス会のミゼレーレ」とも呼ばれる、胸を打つ悔恨の詩編です。元来小編成の作品だったと思われませんが、のちにイエズス会の大教会のために大きな編成に直して再演されたようです。今回は大編成版で演奏します。死者のためのミサ曲とはいわゆるレクイエムです。実に変化に富んだ劇的な「怒りの日」"Dies irae"を含みます。これに死者の典礼のための小品2曲を加えた、シャルパンティエの「深み」を感じることでできるプログラムです。



合唱団フォンス・フローリス Chœur Fons Floris

フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。東京と関西でそれぞれ練習を進め合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語の発音、イネガルや装飾法などフランス・バロック特有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。今までデュ・モン、ド・ラランド、リュリ、シャルパンティエ、カンブラ、ラモー(全宗教音楽)、ベルニエ、モンドンヴィルといった作曲家たちの、主にグラン・モテに取り組んできている。

<http://www.fonsfloris.com/choeur/index.html>

*YouTube で過去の演奏を公開しています。ぜひお聴きください!

花井 哲郎 Tetsuro Hanai (指揮・指導)

古楽演奏家。1996年以来「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」の音楽監督としてグレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の演奏を続ける。CD アルバムとしてはジョスカン・デ・プレのミサ曲全集シリーズを好評リリース中。また「古楽アンサンブル コントラポント」のリーダーとしてバロック時代の宗教音楽演奏に取り組む。2016年にはOttava Recordsレーベル第1弾としてモンテヴェルディ「聖母の夕べの祈り」のライブ録音をリリースする。また2015年より長野県原村で「はらむら古楽祭」を開催し、指揮者また鍵盤楽器奏者として演奏会を行う。フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団フォンス・フローリスを始め、様々な古楽アンサンブルを指揮・指導する。フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。

古楽アンサンブル コントラポント Contraponto -Ensemble for Early Music

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。17世紀を中心に後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。プログラムによって、各パート一人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、ア・カペラの合唱、そして独唱、合唱にバロック・オーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏形式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対位的に」一体となった演奏を目指している。これまで取り組んできた音楽は、パレストリーナ、ビクトリア、ジェズアルドといったルネサンス音楽、ガブリエリ、モンテヴェルディなどヴェネツィア宗教音楽の黄金時代、ドイツ・バロックの3大Sシャイン、シャイト、シュッツ、またスペインのピリヤンシコと18世紀イエズス会宣教時代ラテン・アメリカの宗教作品、フランス・バロックの作曲家シャルパンティエ、リュリ、デュ・モン、カンブラ、ジャン・ジル、クーブラン、ド・ラランドなど、多岐にわたる。2015年以来はらむら古楽祭に出演、ヴィヴァルディの四季などバロックの名曲を演奏。

公式ホームページ <http://www.fonsfloris.com/c/>



上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12
学校法人上野学園内

●電車でお越しの方:

JR各線「上野駅」入谷改札より入谷口から徒歩8分
東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分

●バスでお越しの方:

台東区循環バス<東西めぐりん(浅草方面)>「上野駅・上野公園(東京文化会館前)」より乗車、「上野学園」にて降車、徒歩0分、行きのみ。(めぐりん:所要時間10分、15分間隔で運行)